

機械器具 32 医療用吸引器

一般医療機器 吸引器用キャニスタ (34858000)

ヨックスディスポオペ用後入れライナー

再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止。[感染防止のため]
2. 本品を使用する前には必ずヨックスディスポオペ S702 の取扱説明書と添付文書および本添付文書をよく読み、理解された上で正しく使用すること。[記載事項に従わないと重大な事故に結びつくことがあるため]
3. 本品はヨックスディスポオペ S702 に使用する専用のライナーである。他には使用しないこと。[正常な機能や安全を保てなくなるため]
4. 本品は、ヨックスディスポオペ S702 のキャニスタボトルにセットし外科手術や治療などによって生じる血液、痰、生理食塩水などの汚物を吸引し、固形化させる排液収集バッグである。[再使用は行わないこと。感染の原因となるため]
5. 本品は樹脂製品である。穴を開けたり、高温にさらしたりしないこと。[汚物の飛散、フィルター作動不良によるアウトレットバルブへの吸引などにより感染の原因となるため]
6. 本品内の汚物がキャニスタボトルの最大目盛(2000mL 又は 3000mL)になる前に吸引を中止すること。[満杯まで吸引すると、医療ガス配管設備及びアウトレットバルブが汚物により汚染されることがあるため]
7. 本品は、ディスポーザブル製品である。[ライナーの再利用は絶対しないこと]
8. 本品をキャニスタボトルにセット後、コントローラーのハンドルの「赤丸マーク」の位置を「ON」に合わせペイシェントホースの先端で吸引できることを必ず確認してから使用すること。[正常な機能や安全を保てなくなるため]
9. ライナー内に凝固剤を投入する時は、必ずコントローラーを「ON」のままキャニスタヘッドも閉じたまま実施すること。[汚物などの飛散などにより、感染の原因となるため]
10. 当社の純正部品以外は使用しないこと。[正常な機能や安全を保てなくなるため]

【形状・構造及び原理】

本品はバッグに凝固剤投入口が構成されており、ヨックスディスポオペ S702(届出番号 10B2X00014C00006)に使用する凝固剤後入れタイプのライナーである。

1. 形状

1) 2000mL 用

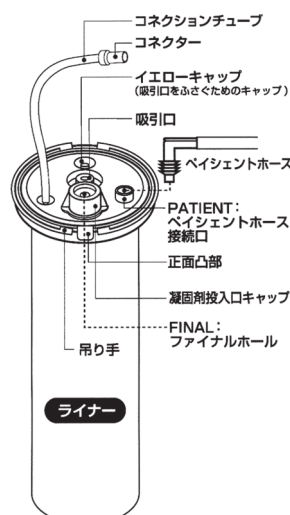
- ① 寸法: $\phi 126 \times 325\text{mm}$
- ② 容積: 2000mL
- ③ 重量: $117 \pm 10\text{g}$

2) 3000mL 用

- ① 寸法: $\phi 126 \times 460\text{mm}$
- ② 容積: 3000mL
- ③ 重量: $137 \pm 10\text{g}$

2. 性能

入口吸引圧力:
-53.3kPa ~ -80kPa



3. 原理

真空吸引器(ヨックスディスポオペ S702)からの吸引圧により、体液等の汚物を吸い込みライナーに貯留させる。貯留された体液が満杯になると吸引が停止する。また、ライナーの凝固剤投入口キャップを開けて凝固剤を投入すると汚物が凝固される。

【使用目的または効果】

本品は、体液の回収を目的とし吸引器とともに使用する吸引器用キャニスタである。

【使用方法等】

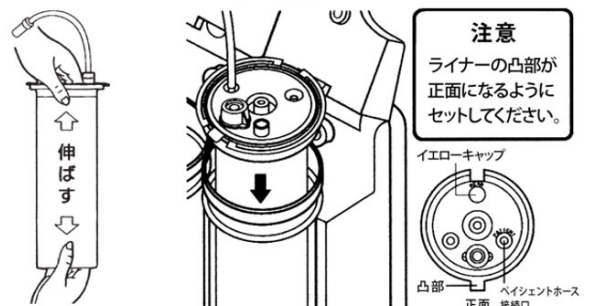
操作方法又は使用方法等の詳細については、ヨックスディスポオペ S702 の取扱説明書を参照。

1. 使用準備

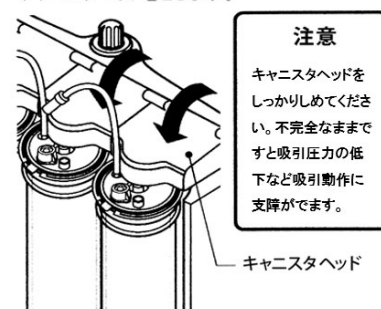
1) ライナーをキャニスタにセット

- ① ライナーを用意する。
- ② ライナーをしっかりと伸ばし、キャニスタヘッドを開いてキャニスタボトルにライナーを差し込む。
- ③ ライナーの凸部を正面に、黄色キャップが真後になる様に合せ差し込む。
- ④ ライナーにセットされている黄色キャップが穴から外れていないことを確認し、キャニスタヘッドをしっかりと閉じる。

ライナーをキャニスタボトルに差し込みます。



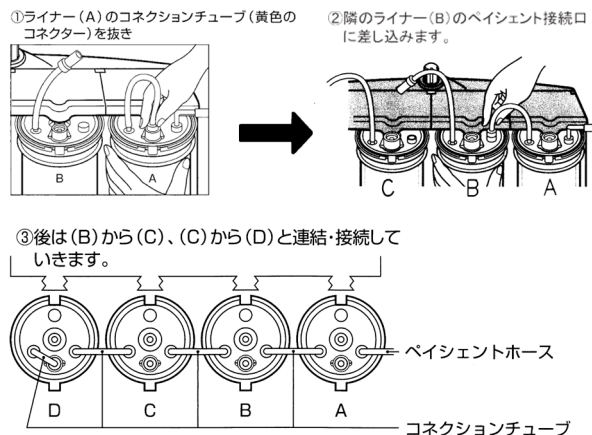
キャニスタヘッドをとじます。



2) ライナーを連結する。

- ① ライナー(A)のコネクションチューブ(黄色のコネクター)を隣のライナー(B)の吸引口に根元まできっちりと差し込む。
- ② 後は(B)から(C)、(C)から(D)と連結・接続する。いちばん左側のライナー(D)のコネクションチューブは「FINAL」ファイナルホー

ルに差し込む。



- ③ 連結の種類、方法についてはヨックスディスポペ S702 取扱説明書を参照のこと。

2. 操作方法

- 1) アダプターホースのアダプターを吸引アウトレットに差し込む。
- 2) ペイシェントホースをライナー(A)のペイシェントホース差し口に接続する。

- 3) ペイシェントホースの先端で吸引できることを確認する。

確認方法

- ① コントローラーのハンドルの「赤丸マーク」の位置を目盛「ON」に合せる。
- ② キャニスタボトル内のライナー内に吸引圧が作用し、ライナーがボトルに沿って膨らむことを確認する。
- ③ ライナーがしぼんでしまった場合は、部品を確認し再度セットする。
- ④ ペイシェントホースの先端を水に入れるか、ペイシェントホースの先端に親指の腹を当て吸引できることを確認してから吸引する。

4) 吸引の開始

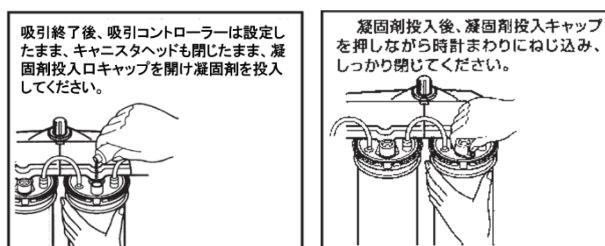
コントローラーのハンドルの「赤丸マーク」を「ON」に合せ、ペイシェントホースの先端から吸引する。

5) 吸引の中断及び停止

- ① 吸引を一時的に中断したいとき、又は短時間使用しないときにはコントローラーのハンドルの「赤丸マーク」を「OFF」の位置に合せる。
- ② 使用後は速やかに、ライナーからペイシェントホースを外し、キャニスタヘッドを開け、ライナーの廃棄を行う。

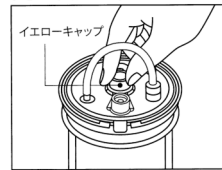
3. ライナー内に凝固剤投入

- 1) 吸引が終了したらコントローラーを「ON」の位置に合わせたまま(キャニスタヘッドも閉じたまま)、全てのライナーのコネクションチューブを「PATIENT」: ペイシェントホース接続口に差し換える。
- 2) ライナーの凝固剤投入口キャップを開けて専用の凝固剤を投入する。
- 3) 凝固剤投入後、凝固剤投入口キャップを下方方向に押しながら時計回りに回転が止まるまでねじ込み、しっかりと閉じる。

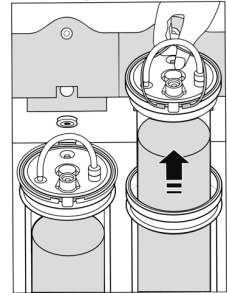


- 4) キャニスタヘッドを開け、ライナーの「吸引口」を付属の黄色キャップで密閉し、ライナー吊り手を持ってキャニスタボトル内のライナーを抜き取る。

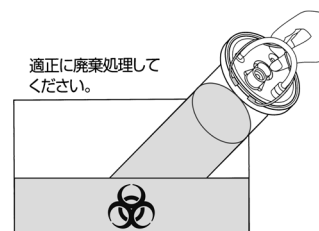
ライナーの吸引口をイエローキャップでふさいでください。



ライナーの吊り手を持って、キャニスタボトルから引き出してください。



- 5) ライナーを所定の処理場所に廃棄する。



【使用上の注意】

1. ライナー連結時のコネクションチューブのコネクターは黄色い部分が見えなくなるまで差し込むこと。
2. ライナーとキャニスタボトル及びキャニスタヘッドは確実にセットすること。
3. 連結または単独使用の最後のライナーは必ず新品を使用すること。
4. 連結または単独使用の最後のライナーのコネクションチューブは、必ず「FINAL」ファイナルホールに差し込むこと。
5. チューブ類を抜き差しするときに無理な力を掛けないこと。
6. ペイシェントホース及びアダプターホースは内径φ6mmを使用すること。
7. 一つのアウトレットバルブでは一台の吸引を行い、二又にするなどの同時使用は絶対にしないこと。
8. ライナーは確実にセットすること。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
1) ライナーはポリ袋などに収納し、所定の保管場所に保管すること。
2) 保管場所の条件: 高温、ほこり、水、湿気等がない場所であること。温度、ほこり、湿度、風通し、塩分、いおう分等を含んだ空気等により、悪影響の生じるおそれのない場所であること。化学薬品の保管場所やガスの発生する場所でないこと。

【取扱い上の注意】

ライナーを転倒及び落下等の衝撃を加えないこと。

【保守・点検に係る事項】

ライナーは使用前に必ず下記のことを目視で確認する。

1. ライナーに亀裂、損傷及び変色、劣化、落下等による変形等がないか。
2. ライナー内にセット部品が外れておちていないか。
3. ライナー内にフィルター等の部品がセットされているか。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 : 株式会社小池メディカル
電話 : 03-5662-6605(代)